

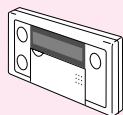
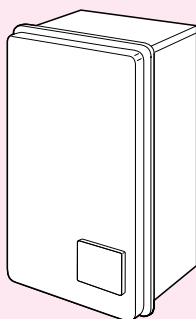
ガス給湯器

533-H408型

型式名

<BL認定品>

YS160FM



(浴室リモコン別売品)

取扱説明書 保証書付

大阪ガス

このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確かめてください。
- ・この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SBA8048



SBA8048 T

もくじ




もくじ	1
必ずお守りください(安全上の注意)	2
各部のなまえとはたらき(機器本体)	7
初めてお使いになるときは	8
各部のなまえとはたらき(リモコン)	9
操作部	9
浴室リモコン	11
使いかた	
時計を合わせる・時計を表示させる	13
浴室から操作部のチャイムを鳴らす	14
お湯を出す/お湯の温度を調節する	15
お風呂のお湯はりをする<オート止水>	17
お湯はり温度を調節する	19
お湯はり湯量を調節する	20
各設定を変更する	21
(リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電)	
凍結による破損を予防する	23
日常の点検・お手入れのしかた	25
故障・異常かな?と思ったら	27
アフターサービスについて	32
主な仕様	33
保証書	裏表紙

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■ 注意・禁止内容の絵表示

 高温注意	 感電注意	 必ずおこなう	 アース必要	 電源/万/抜く	 禁止	 火気禁止	 接触禁止	 めれ手禁止	 分解禁止
--	--	--	---	---	--	--	--	---	--

危険



ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
3. 窓や戸を開ける
4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する



ガス漏れ時は、絶対に

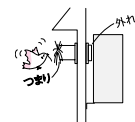


- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、火災の原因になります。



給排気筒トップが外れたり、穴があいたり、つまった状態で使用しない



排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)-2

警告

❗ 異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う

1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

⚠ シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する



入浴時も、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する



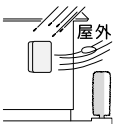
やけど予防のため。

❗ シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

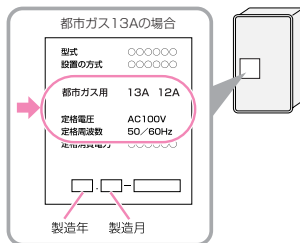
高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

❗ 屋外に設置しない

雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。



❗ 必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示以外のガス・電源を使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

❗ 子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。

❗ ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する

安全に使用していただくため。

❗ 修理技術者以外は修理・分解・改造をしない

火災や故障の原因になります。

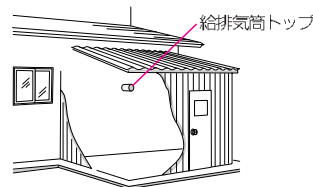
❗ 燃えやすい物をまわりに置かない
(洗濯物、新聞紙、灯油など)



火災の原因になります。

(つづき)

❗ 増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



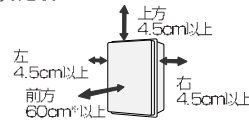
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

❗ 外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに給排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発着火の原因になります。

❗ 燃えやすい物とは離す
(樹木、木材、箱など)

火災予防のため。



※印はアフターサービス上の寸法です。

❗ 灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。

❗ スプレー缶を、機器本体や給排気筒トップのまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。

注意

⚡ 必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。

❗ 電源プラグはぬれた手でさわらない



⚡ 感電の原因になります。

❗ 電源プラグのほこりはときどき取る
ほこりがたまると、発火の原因になります。

❗ 乾電池に関する注意(お願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処置を依頼してください。もしお客さまで旧機器の処置をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。

❗ 電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く



コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

❗ 電源プラグは根元まで確実に差し込む




差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。


❗ 給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない


思わぬ事故を予防するため。

必ずお守りください(安全上の注意)-3

(つづき)

 電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工しない。
感電、ショート、火災の原因になります。

 太陽熱温水器とは絶対に接続しない
お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。


 使用中や使用後しばらくは、給排気筒トップ付近に触れない
やけど予防のため。





リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

お願い

 雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、現在時刻を合わせてください。

ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴミや埃が侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

リモコン/操作部を分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコン/操作部の掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

浴室リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

操作部に、水しぶきをかけない、蒸気を出さない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。

運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すとき熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

(つづき)

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する
時計のリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)

ガラスが割れたり変色する原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください)

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する
ガス事故防止のため。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする
(P24)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない
雑用水として使用してください。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

凍結による破損を予防する(P23~24)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。

凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

積雪時には給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給排気筒トップが隠されると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

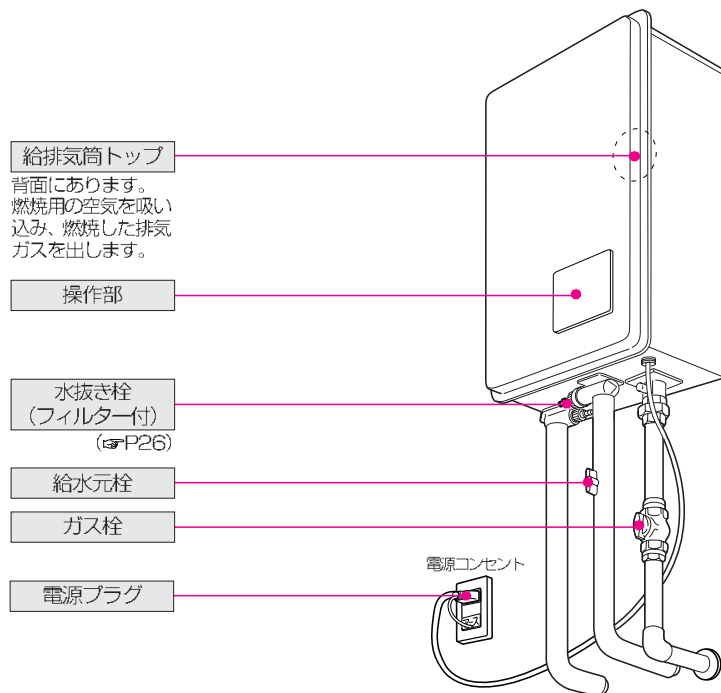
給湯栓を絞らずにすぎない

消火する直前の量でお湯を使うと高温になる場合があります。
やけど予防のため。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

イラストは施工例です。

配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

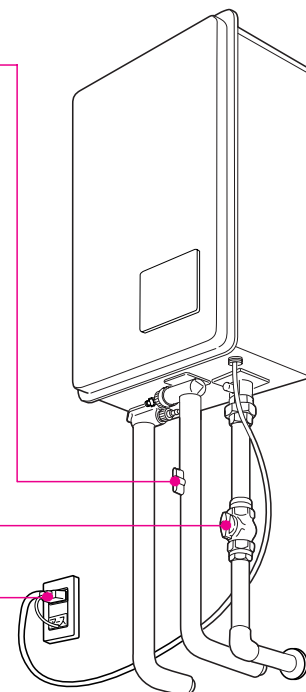


初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～4の手順でおこなってください。

- 1 給水元栓を全開にする。
- 2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。
- 3 ガス栓を全開にする。
- 4 電源プラグを差し込む。
ぬれた手でさわらない

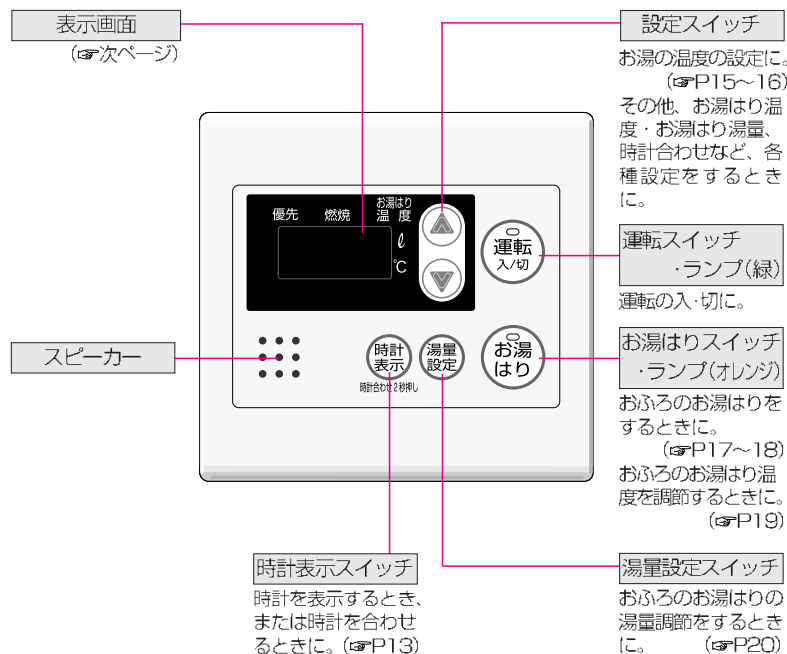


各部のなまえとはたらき(リモコン-1)

操作部

機器本体に組み付けられています。

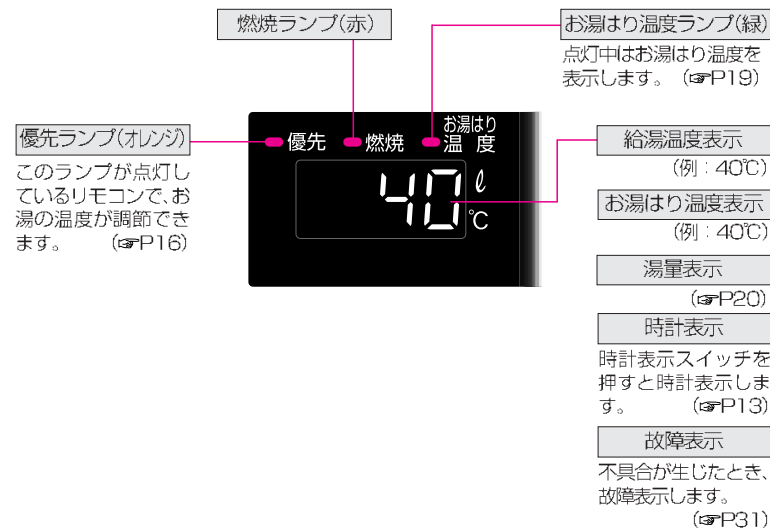
※本取扱説明書では、操作部・浴室リモコンを併せて「リモコン」として説明しています。



表示画面

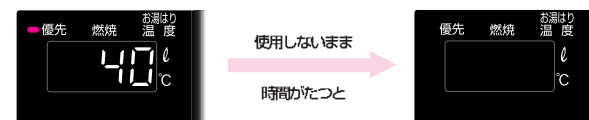
下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。

実際の運転のときは、該当部分を表示します。



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



※画面が消えても、運転は「入」の状態です

※ご使用になる前に、操作部表面の保護シートを取り外してください。

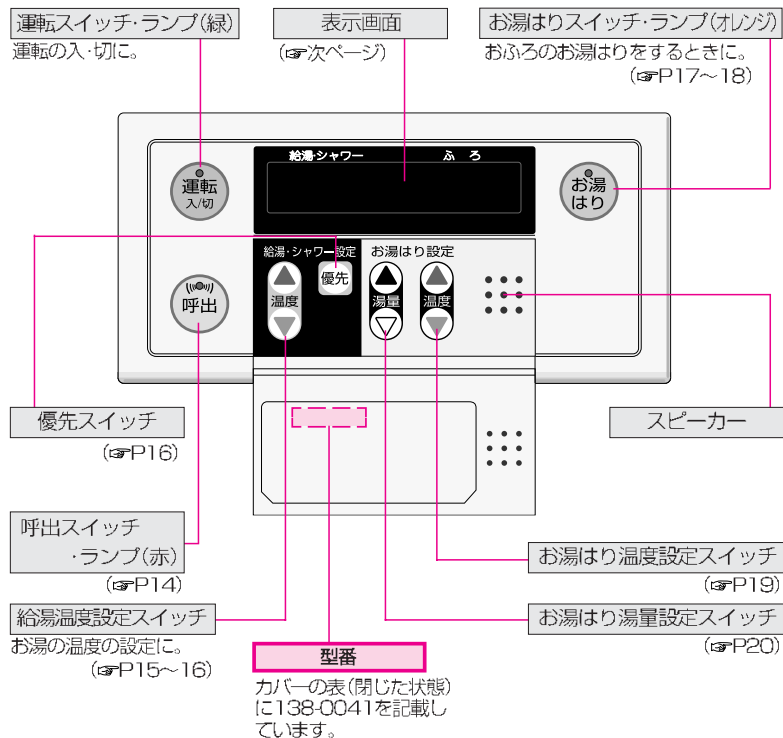
- *再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
- *給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。
- *操作部では、時計を表示させると表示の節電はしません。

各部のなまえとはたらき(リモコン-2)

浴室リモコン<別売品>

浴室に取り付けられています。

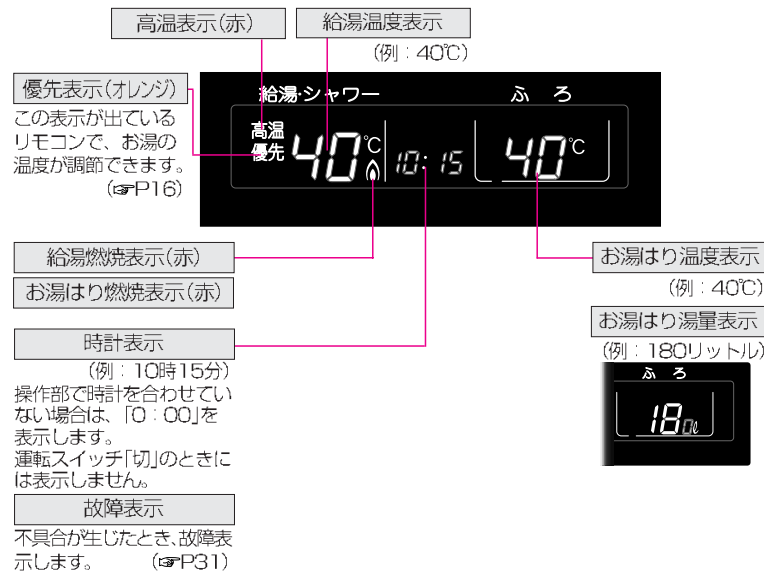
※本取扱説明書では、操作部・浴室リモコンを併せて「リモコン」として説明しています。



※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

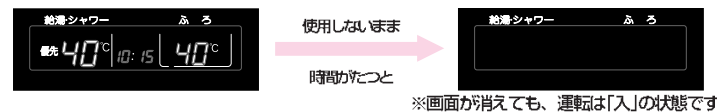
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示の節電>

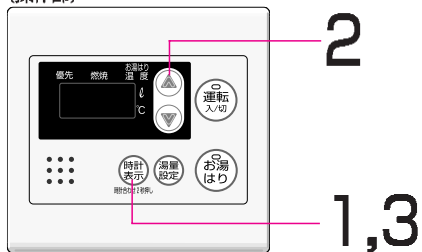
リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分(オート止水機能を使った場合約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



※再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
※給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。

使いかた 時計を合わせる・時計を表示させる

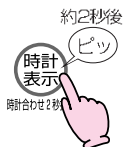
(操作部)



- ・時計合わせは操作部です。(浴室リモコンではできません)
- ・操作部で時計を合わせると浴室リモコンにも時計表示をします。
- ・運転スイッチの「入・切」に関係なく、時計合わせや時計を表示させることができます。(イラストは「切」の状態です)

時計を合わせる

1 時計表示スイッチを約2秒押す (「0:00」が点滅するまで)



2 時計を合わせる



一度押す毎に1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。



例：「午前10時15分」のとき

3 時計表示スイッチを押す



点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。



このみ点滅

操作部に時計を表示させる

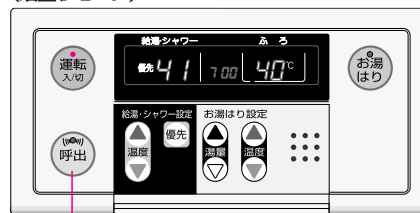
時計表示スイッチを押してください。
もう一度押すと、操作部の時計表示が消えます。



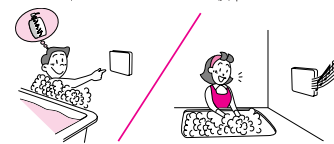
- ・時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- ・お湯の使用や、60℃の高温設定時に時計表示スイッチを押した場合は、約10秒間時計表示し、その後、元の画面表示に戻ります。
- ・停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電すると「0:00」に表示が変わりますので、時計を合わせなおしてください。
- ・操作部では、時計を表示させると表示の節電はしません。(P22)

使いかた 浴室から操作部のチャイムを鳴らす (操作部・浴室リモコンの両方がある場合)

(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があつたり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので会話はできません)



呼出スイッチを押す

チャイムで呼び出します。

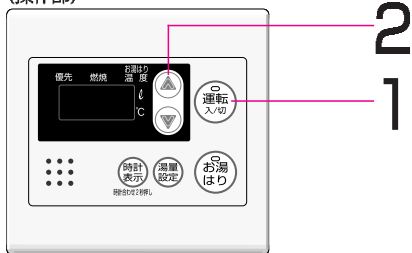


押し続けると、手をはなすまでチャイムをくりかえします。

●呼出スイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた お湯を出す/お湯の温度を調節する

(操作部)



(浴室リモコン)



ここでは操作部でご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

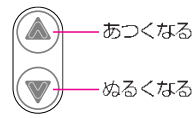
1 運転スイッチを「入」にする



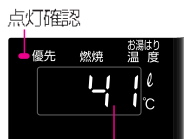
前回に設定した給湯温度 (例: 40℃)

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチを押して給湯温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)



※浴室リモコンの場合は給湯温度設定スイッチです。

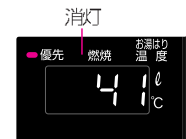


変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける



4 使い終わったら給湯栓を閉める



警告



高温注意

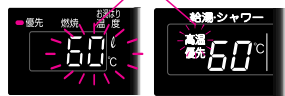
*シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手で湯の温度を確認してから使用してください。

*60℃に設定したときは、●“あついお湯が出ます”とお知らせし、右のような表示になります。

*表示の温度をよく確かめてから使用してください。60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。



約10秒間 点滅→点灯



<操作部> <浴室リモコン>

警告



シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

お湯の温度の目安 (℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	高温

※初期設定(工場出荷時)=40℃

●1回押すごとに1段階ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、44℃以上になるときは1回ずつ押してください。

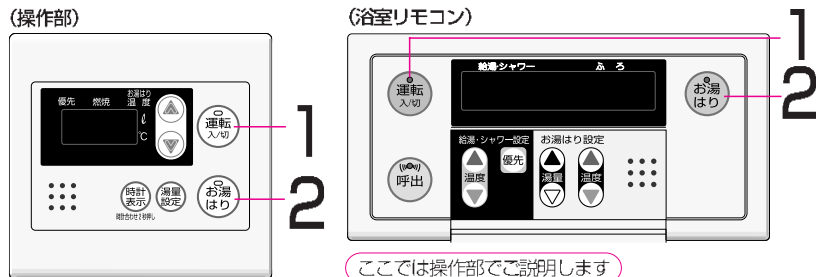
<故障ではありません>

*低温(食器洗いなど)に設定したときは、水温が高い場合、お湯の温度が設定温度よりも高くなる場合があります。
*給湯栓を開けた直後は、湯温を安定させるため、一定時間湯量が少なくなることがあります。

お湯の温度の調節ができない場合は、以下の操作をしてください—優先切替 (操作部・浴室リモコンの両方がある場合)

湯温調節できない状態	湯温調節するには(優先切替)	湯温調節できる状態	各リモコンで設定温度がそれぞれ違っていたときは、優先切り替え時に
浴室リモコン 「優先」表示していない優先スイッチを「入」にする 表示 給湯シャワー 40℃ ※給湯温度設定スイッチを押すと ●「優先」スイッチを押してください	優先	表示 給湯シャワー 42℃	●「給湯温度を○○℃に変更しました」 ●「あついお湯が出ます」(60℃時) 等お知らせします。 ※設定温度は別列です。
操作部 点灯していない 42℃ ※設定スイッチを押すと ●浴室優先です	運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする 点灯 消灯→点灯 運転スイッチ	表示 給湯シャワー 40℃ ※お湯量中にこの操作をするとお湯量が停止します。	

使いかた お風呂のお湯はりをする<オート止水>



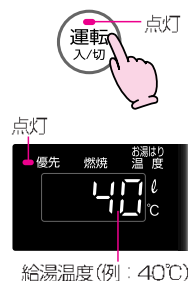
ここでは操作部でご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

1. 浴槽の排水栓を閉める。
2. 浴槽のふたをする。
(お湯はり部分は開ける)

1 運転スイッチを「入」にする

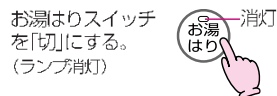


お湯はり温度・湯量の調節
19~20ページ参照

2 お湯はりスイッチを「入」にする



給湯栓を開ける前に
お湯はりをやめたいとき



■サーモ付混合水栓を使用している場合

- お湯はり時は必ず水栓側の温度設定を「H」または「高」の位置までまわして使用してください。

中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。

※給湯栓の構造により「H」または「高」の位置でもお湯はり完了後、水が多少流れる場合があります。
湯温がさかたり、浴槽からお湯があふれることがありますので、メロディが鳴ったらすぐに給湯栓を閉めてください。



警告



やけど予防のために

給湯栓を閉めた後、水栓側の温度設定は温度40℃ぐらいの位置にもどしてください。

<オート止水>とは

浴槽にお湯をはるときお湯の量を設定しておく、その量になったときにリモコンのメロディと音声(● "お風呂が沸きました")でお知らせし、お湯が自動的に止まります。
(給湯栓は開いたままなので必ず閉めてください)



- お湯はり完了後10分以内に給湯栓を閉めなかった場合は、お湯が使用できません。

メロディが鳴ってから給湯栓を閉めないまま約10分経過したら、リモコンに「OFF」を表示しますので、給湯栓を開けてお湯はりスイッチを押してください。

● "お湯はりの設定を解除しました" と音声でお知らせし、約15秒後にお湯はりランプが消えたらお湯が使用できます。

3 お風呂の給湯栓を開ける



※サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。

給湯栓を開けたあと
お湯はりをやめたいとき

給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。

※● "お湯はりの設定を解除しました" と音声でお知らせし、お湯はりランプが消えるまで給湯栓を開けないでください。

4 お湯はりメロディが鳴ったらお風呂の給湯栓を閉める



メロディでお知らせ
+
● "お風呂が沸きました"
● "給湯栓を閉めてください"

※他で給湯を使用している場合はその給湯栓も閉めてください。

<給湯栓を閉めると>

- ・しばらくして(約30秒以内)● "お湯はりの設定を解除しました" とお知らせします。
- ・お湯はりランプが消灯します。

<給湯栓を閉めなかったら>

メロディが鳴ってから約10分間、給湯栓が閉まったかどうかを確認するため自動的に機器が水を流し、給湯栓から少量の水が出たり止まったりします。
給湯栓を閉めると水は止まります。

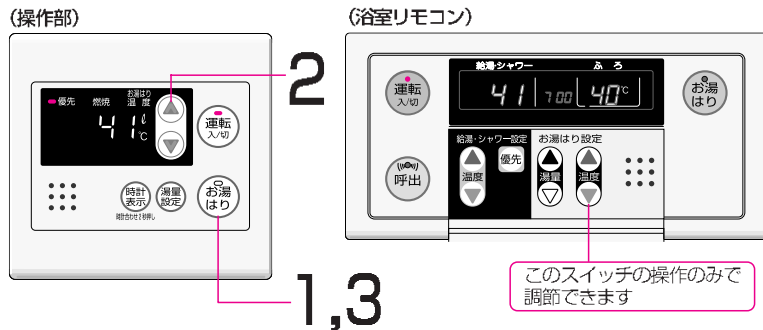
<メロディが鳴ってから給湯栓を閉めないまま約10分経過したら>
下記の表示が出ますので、給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。

※● "お湯はりの設定を解除しました" と音声でお知らせし、お湯はりランプが消えるまで給湯栓を開けないでください。



- お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯はり温度のお湯が出ます。
- お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり量が少なくなります。
- 前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
- 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っているお湯(水)の量だけお湯はり量が多くなります。

使いかた お湯はり温度を調節する



ここでは操作部で説明します

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

- お湯はりスイッチを「入」にする

約10秒間 点滅→点灯

前回設定したお湯はり温度 (例: 40℃)
- 設定スイッチを押してお湯はり温度を調節する

あつくなる
ぬるくなる

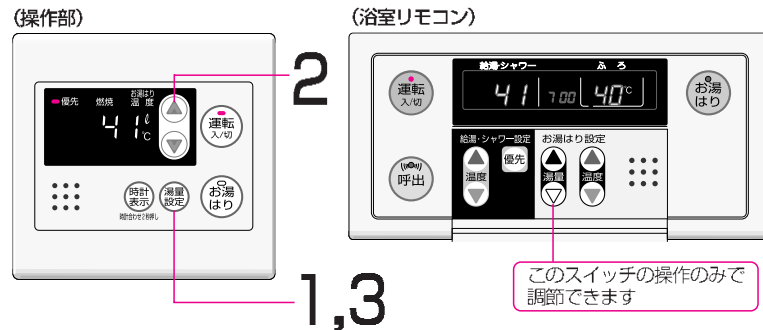
変更したお湯はり温度
- お湯はりスイッチで給湯表示画面に戻す

消灯

給湯温度

そのままお湯はりますときは3でお湯はりスイッチを押さずに給湯栓を開けてください。2の段階で変更した温度でお湯はります。

使いかた お湯はり湯量を調節する



ここでは操作部で説明します

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

- 湯量設定スイッチを押す

湯量設定

前回設定したお湯はり湯量 (例: 180リットル)
- 設定スイッチを押してお湯はり湯量を調節する

ふえる
へる

変更したお湯はり湯量
- 湯量設定スイッチで給湯表示画面に戻す

湯量設定

給湯温度

最後に湯量設定スイッチを押したときでも、2の段階で変更した湯量で確定されます。

お湯はり温度の目安 (℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ				ふつう						あつめ	

※初期設定(工場出荷時)=40℃

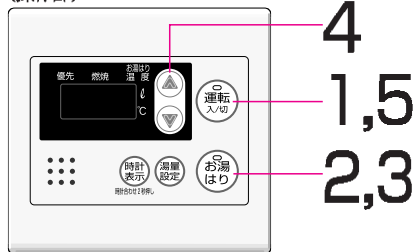
●1回押すごとに1℃ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、46℃以上上げるときは1回ずつ押してください。

お湯はり湯量

40~260(20リットルきざみ)・300・350・400リットルの値で調節できます。
※初期設定(工場出荷時)=180リットル

使いた 各設定を変更する(リモコンの音量・音声ガイド・

(操作部)



4
1,5
2,3

操作部・浴室リモコンのそれぞれで
設定してください。

(浴室リモコン)



1,5
2,3
4

表示の節電)

3 お湯はりスイッチで 設定モードを選ぶ

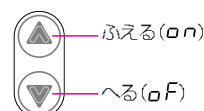


押すごとに
切り替わります。



表示画面は操作部でご説明します

4 設定スイッチを押して変更する (浴室リモコンの場合は給湯温度設定 スイッチで)



ふえる(ON)

へる(OF)



＝初期設定(工場出荷時)

<div><div></div><div>3</div></div> <div>お湯はりスイッチを押す (押すごとに切り替わります)</div>		<div><div></div><div>4</div></div> <div>設定スイッチを押して変更する</div>									
音量	<div>「1」にする</div> <div>音量 設定モード</div> <div>設定</div> <div><div>優先燃焼お湯はり温度</div><div>1:2℃</div></div>	<table><tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>なし</td><td>小</td><td>中</td><td>大</td></tr></table> <div>※「0」の設定でも「呼び出し音」(P14)は鳴ります。 ※「0」に設定すると「お湯はりメロディ」(P18)は鳴りません。</div>		0	1	2	3	なし	小	中	大
0	1	2	3								
なし	小	中	大								
音声ガイド	<div>「2」にする</div> <div>音声ガイド 設定モード</div> <div>設定</div> <div><div>優先燃焼お湯はり温度</div><div>2:ON℃</div></div>	<table><tr><td>ON (あり)</td><td>声でお知らせします</td></tr><tr><td>OFF (なし)</td><td>声でお知らせしません</td></tr></table> <div>※操作音と声の両方とも鳴らないようにするには、音量为「0」に設定してください。</div>		ON (あり)	声でお知らせします	OFF (なし)	声でお知らせしません				
ON (あり)	声でお知らせします										
OFF (なし)	声でお知らせしません										
表示の節電	<div>「3」にする</div> <div>表示の節電 設定モード</div> <div>設定</div> <div><div>優先燃焼お湯はり温度</div><div>3:ON℃</div></div>	<table><tr><td>ON (する)</td><td>無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはオート止水機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯) お湯を出したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。 ※給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。 ※操作部で時計を表示させると操作部の表示の節電はしません。</td></tr><tr><td>OFF (しない)</td><td>運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。</td></tr></table>		ON (する)	無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはオート止水機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯) お湯を出したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。 ※給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。 ※操作部で時計を表示させると操作部の表示の節電はしません。	OFF (しない)	運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。				
ON (する)	無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはオート止水機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯) お湯を出したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。 ※給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。 ※操作部で時計を表示させると操作部の表示の節電はしません。										
OFF (しない)	運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。										

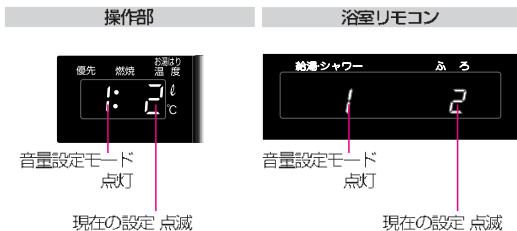
1 運転「切」にする

運転「切」の状態でのみ、各設定の変更ができます。



2 お湯はりスイッチを 約2秒間押す

ピッと鳴るまで(約2秒間)押す。



音量設定モード
点灯
現在の設定 点滅

音量設定モード
点灯
現在の設定 点滅

5 設定が完了すれば

運転スイッチを押す
または 約30秒放置する



続けて他の設定を変更する場合は、再度2～5の手順で変更してください。
そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。
使用しない場合は、そのまま約30秒放置しておくと運転「切」の状態に戻ります。

凍結による破損を予防する

お願い

*暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。

*凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない。

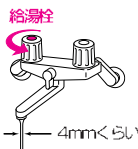
(運転スイッチ「入・切」に関係なく凍結予防します)

*給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

■低温注意報が発令されたときや、冷え込みが厳しいときは、以下の処置をする。

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc…太さ約4mm)を流したままにしておく。
*サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 急のため、約30分後に再度流れる量を確認する。



*サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。
やけど予防のため。

凍結してお湯(水)が出ないとき

■気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

その際、運転スイッチを「切」にしてください。

■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください。

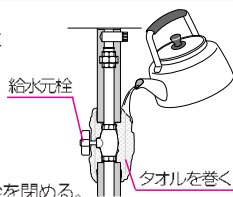
1. 運転スイッチを「切」にする。
2. 台所などの給湯栓を少し開けておく。
3. ガス栓を開め、給水元栓を回してみる(閉めてみる)。



給水元栓が凍結して回らない場合

- 1) タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- 2) 人肌程度(30~40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。(床面などがぬれないように処置をする)

注意
*熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
*機器の電源プラグ・コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。
*ガス栓とまちがえないように注意してください。



- 3) 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を開める。
- 4) タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布で拭き取る。
- 5) 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)

給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

*給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

以下の要領で水抜きをしてください。

⚠ 注意



お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

水抜き栓などからお湯または水が70℃以上(配管・設置条件によって量が異なります)出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. ガス栓を閉める。



2. 運転スイッチを「切」にする。

3. 電源プラグを抜く。 **ぬれた手でさわらない**

4. 給水元栓を開める。



5. すべての給湯栓を全開にする。

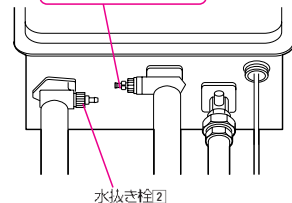


6. ①水抜き栓①の凹部をゆるめて水を抜く。
②水抜き栓②をゆるめて水を抜く。
③水抜き栓①の凹部と水抜き栓②を外す。



7. 6の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓①の凹部と水抜き栓②、およびすべての給湯栓を開める。

*各水抜き栓は、配管の保温材に隠れて見えにくいことがあります。



再使用のとき

1. 水抜き栓①の凹部と水抜き栓②が閉まっていることを確認する。
2. すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. P8「初めてお使いになるときは」の手順1~4にしたがってください。

日常の点検・お手入れのしかた

点 検（定期的）



注意



高温注意

点検・お手入れは、リモコンの運転「切」または、電源プラグを抜いておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

チェック 機器や給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

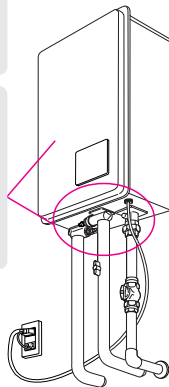
→ 燃えやすいものを置かない。

チェック *機器の外観に異常な変色や傷はないか？
*運転中に機器から異常音が聞こえないか？

*機器・配管から水漏れはないか？
→ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

チェック 給排気筒トップが外れたり、穴があいたり、ゴミなどつまっていますか？

→ 給排気筒トップが外れたり、穴があいたり、つまった状態で使用しない。（P2）



チェック 給排気筒トップにススがついていないか？

→ ついていたら、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

チェック 給排気筒トップがほこりなどでふさがっているか？

→ ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ（定期的）

機 器 本 体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン／操作部

リモコン／操作部の表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

- リモコン／操作部の掃除にはベンジンや塩素系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
（操作部は防水タイプではありません）

お手入れ（定期的）

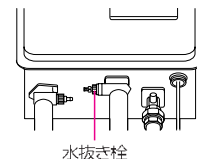
水抜き栓のフィルター

水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、リモコン／操作部の運転を「切」または、電源プラグを抜いて機器が冷えてからおこなってください。（やけど予防のため）

※水抜き栓などからお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を開める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. [A]部を開ける。（注1）
4. 水が完全に抜けたら、水抜き栓を外す。（注1）
5. 配管とつながっているバンドから外し、フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。（注2）
6. 元どおり水抜き栓を取り付け、[A]部を開める。
7. すべての給湯栓を閉める。
8. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。



水抜き栓



（注1）このとき水（湯）が出ます。

（注2）水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターとの間のパッキンをなくさないように注意してください。

<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 断水していませんか？ * 給湯栓は充分開いていますか？ * ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか？ * LPガスの場合、ガスがなくなっていますか？ * 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていますか？ (P26) * 凍結していませんか？ (P23) * 運転スイッチは「切」になっていませんか？ * 電源プラグが抜けていませんか？
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	* 機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 給湯温度設定は適切ですか？ (P15～16) * 水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 * 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 給湯温度設定は適切ですか？ (P15～16) * 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。
お湯の使用中に水になった（途中で火が消えた）	<ul style="list-style-type: none"> * 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 * 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯にならないことがあります（自動的に燃焼を停止し高温のお湯にならないようにします）。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯温度の調節ができない	* 操作しているリモコンに優先切替していますか？ (P16)
設定したお湯はり温度にならない	* 前日など残り湯（水）があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	<ul style="list-style-type: none"> * お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合があります。 * 給湯栓の種類によっては、初め多く出たその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。 * お湯の温度を安定させるため、お湯の出初めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
お湯はりの量が設定した湯量にならない	<ul style="list-style-type: none"> * お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。 * 残り湯（水）がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯（水）の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。

故障・異常かな？と思ったら-2

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> * 停電していませんか？ * 電源プラグが差し込まれていますか？
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	<ul style="list-style-type: none"> * 停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。
設定量までお湯はりをしてもお湯はりメロディが鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> * お湯はりメロディは、給湯器で燃焼したお湯が設定量で連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところで鳴ります。 * 音量を「0(なし)」に設定していませんか？ (P22) 音量「0(なし)」の設定の場合、お湯はりメロディは鳴りません。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	<ul style="list-style-type: none"> * 機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはオート止水機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(表示の節電) (P22) お湯を出したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない (例)運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていない など…	<ul style="list-style-type: none"> 【呼出スイッチ、お湯はりスイッチ以外のスイッチの場合】 * 表示の節電中にスイッチを1回押すと、表示の節電を解除し、もう1度押すとそのスイッチの機能がはたらきます。運転「入・切」は、ランプ「点灯・消灯」で確認してください。
表示の節電の状況にならない	<ul style="list-style-type: none"> * 表示の節電「する」の設定になっていますか？ (P22) * 給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。 * 時計表示をしているときは、操作部の表示の節電はしません。
リモコンの時計表示が「0:00」になっている	<ul style="list-style-type: none"> * 停電後、再通電すると時計表示が「0:00」になりますので、時計合わせをしなおしてください。(P13)
リモコンの表示が「OFF」になっている	<ul style="list-style-type: none"> * お風呂のお湯はり(オート止水)が終了してから10分以上経過していたり、お湯はり中にスイッチを押したためです。すべての給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。 “お湯はりの設定を解除しました”と音声でお知らせし、お湯はりランプが消えるまで給湯栓を開けないでください。

「音」に関すること

運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする	<ul style="list-style-type: none"> * 再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくすると、モータの動く音(クックッ、クー)がする	

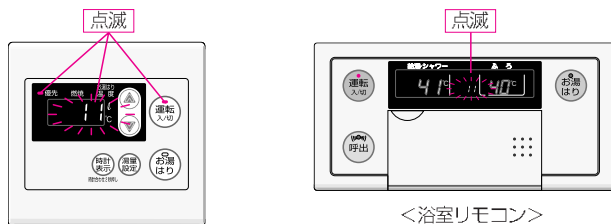
その他

使用中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 断水していませんか？ * 給湯栓が充分開いていますか？ * ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか？ * LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？
寒い日に給排気筒トップから湯気が出る	<ul style="list-style-type: none"> * 冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
お湯が白く濁って見える	<ul style="list-style-type: none"> * 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものですよ。
機器の給湯側の水抜き栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある	<ul style="list-style-type: none"> * 機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴が落ちることがあります。
浴槽や洗面台が青く変色した	<ul style="list-style-type: none"> * 浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがありますが健康上問題ありません。 浴槽や洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

故障・異常かな？と思ったら-3

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、表示画面に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。



表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
11	点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、ガス栓が開いているか、ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していないか、またはLPガスがなくなっていないかを確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
OFF	お風呂のお湯はり（オート止水）が終了してから10分以上経過していたり、お湯はり中にスイッチを押したため	すべての給湯栓を開めてから、お湯はりスイッチを押してください。

— 以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください —

- ・ 上記以外の表示（例：51 など）が出るとき
- ・ 上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- ・ その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P27～31の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

型番 533-H408型
異常の状況 （故障表示など、できるだけ詳しく）
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
保証書に記載されている保証期間・保証内容などをよくご確認ください。
無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。
但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器（銘板）に表示してあるガスの種類・電源（電圧）が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者・販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。
※ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

		16号
型番		533-H408型
型式名		YS1660FM
種類	給湯方式	先止め式
設置方式		屋内設置形
点火方式		放電点火式
使用水圧 (MPa)		0.1~1.0 (1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5 (約1.5~5.0kgf/cm ²) >
作動水圧 (kPa)		10 (0.1kgf/cm ²)
最低作動流量 (L/分)		3.5
外形寸法 (mm)		高さ640×幅350×奥行200
質量 (本体) (kg)		17
接続口径	湯	R1/2
	水	R1/2
	ガス	R1/2
電源		AC100V (50/60Hz)
消費電力 (50/60 Hz) (W)		48/48 (凍結防止ヒーター 141)
待機時消費電力 (W)		3.0
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結防止装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置

能力表

使用ガス		1時間当りのガス消費量 (最大消費量) (kW)	出湯能力(最大時) (L/分)	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	34.9	16	10
LPガス				

＝ お客さまへ ＝

本製品は、消費生活用製品安全法(消安法)の長期使用製品安全点検制度※で指定される特定保守製品です。

※消安法 長期使用製品安全点検制度の法施行は2009年4月1日です。
このチラシは、取扱説明書とともに大切に保管願います。

特定保守製品とは…

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

法定の点検期間になったら点検を受けてください

- ・特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- ・なお、法定の点検後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- ・法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

法定の所有者登録をしてください

- ・特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。
製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ・ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

消安法の施行(2009年4月1日)前に製造した製品の所有者票は任意のご提供になります。ご提供いただいた場合は、2009年4月1日以降に製造した製品と同等に所有者情報を管理し、法定点検に準ずる点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをいたします。所有者票のご提供(所有者登録)をしていただくことをおすすめします。

点検制度チラシA03—般



SBA8032 S

登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください

- ・所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。
引越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる点検連絡先にご連絡ください。
ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

法定の点検通知をいたします

- ・法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- ・点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間※を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。
「保証期間」とは異なるのでご注意ください。(保証期間は保証書を参照願います)

<設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期・・・製造年月
- 2) 終期・・・JIS S 2071 および 日本ガス石油機器工業会規格JGKAS C 301の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等を行い、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件(給湯)

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期(春・秋)
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
5. 給水温度	15℃
6. 出湯温度	40℃
7. 1日使用量	456リットル
8. 1日使用時間	1時間
9. 1年使用日数	365日

■使用条件(ふろ)

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期(春・秋)
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
5. 給水温度	15℃
6. 沸き上がり温度	40℃
7. 入浴回数	毎日
8. 沸き上がり回数	1回/1日
9. 追いだし回数	2回/1日
10. 浴槽水量	180リットル

＜ご注意ください＞

使用頻度、使用環境、設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等、本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、P4「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

点検について

法定点検は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。

【点検の内容について】

- ・ 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- ・ 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目、点検内容が定められています。
- ・ 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- ・ 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)を行って使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

【点検の料金について】

点検費用は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.osakagas.co.jp/>

インターネットでご確認できない場合は、P4「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

- (1) 点火・消火に関する部品：製造打切後11年
点火プラグ・イグナイター・フレイムロッド
- (2) 水・湯・ガス通路に関する部品：製造打切後11年
サーミスター・パッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年
COセンサー・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ
風圧スイッチ・熱湯遮断弁

※補修用性能部品の保有期間は取扱説明書をご覧ください。